

3

《小学校中学年から》

なかよしサッカー道場

～ 技能差を生かして ～ (みんなが楽しめる体育)

ねらい

子どもたちが大好きなサッカー。でも、経験の差によって技能差が大きくなりやすい種目。小学校でも、同じ時間に体育をしながら別々のコートでゲームをする“男女別学”となりやすいのではないのでしょうか。また、サッカースポーツ少年団の子どもたちが多いクラスでは、よけいに個人差が大きく、スポ少の子たちだけでボールを回している事も多いはず。

かといって、「女子がゴールしたら2点」では男子の中にもいるはずの経験の少ない子に配慮していない。「全員にボールを回さないと得点できない」では、ゲームに緊迫感がない。技能差を超えてみんなが楽しめる授業を模索したい。

すすめ方

グループ分け

- ・ スポ少サッカーの子など、サッカーが得意な子を「コーチ」、そうではない子を「ビギナー」に、2～3人のグループを作ります。(「コーチ」「ビギナー」の名前はご自由に。楽しい名前がいいです。)
- ・ 子どもたちと相談して分けてもいいし、教師がそれぞれの子の顔を思い浮かべて、みんなが居心地の良いように分けてもいいです。
- ・ 前もって、休み時間に板書したりして知らせます。(何のグループなのかは伏せたりして、ワクワク・ドキドキしてもらうのもいいです。)

林 橋本 堀田	米本 野中 木崎
石田 坂本 西野	山野 浦田
山下 渡部	免田 松本 中川
荒本 高本 川渕	高山 沼田 水谷

ルールの説明

・ルールは一般のサッカーと同じですが、次の点を伝えておきます。

- ①試合の前半は、「ビギナー」戦。「コーチ」はボールをさわれません。
試合中、「ビギナー」について、動きをアドバイスします。
- ②試合の後半は、「コーチ」戦。「ビギナー」は試合中、「コーチ」の5名以内の
場所において、動きを学びます。

活動の流れ	留意点
①グループで体操	・「コーチ」にお任せします。以下、 教師は各グループが楽しい雰囲気になるように心を配ります。
②グループ練習 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">グループごとに、 運動場に散らばって</div>	・「コーチ」たちと相談して、全体の 練習内容を決めます。たとえば・・・ 「今日はジクザグドリブルがしたい」 「トラップを教えたい」 「シュート練習をさせたい」
③ゲームをする 4つの小グループで1チームとする	・前半戦は「ビギナー」戦。「コーチ」は ボールをさわらず、アドバイスをする。 ・後半戦では、「ビギナー」たちに 「コーチ」の動きを追わせたい。
④ふりかえりをする	・今日の練習の成果が、ゲームに現れ ていたか、次の時間はどんな練習が 必要か、子どもたちといっしょに考 える。

ポイント

- ・サッカーが苦手な子にとっては、ていねいに教えてもらってだんだん技能がついていくのが実感でき、意欲が高まる。試合でもすすんでボールに向かっていくことができる。
- ・サッカーの得意な子は、存分に試合ができるし、「ビギナー」の“あこがれの視線”に自尊意識も高まり、優しくなれる。また、「いつもはコーチに教えられている立場だけれど、教える立場になれるのが楽しい。」のだそうだ。